

ド エリー土を活かして作物を栽培してみよう

植物が成長するためには空気や水だけでなく、栄養素(肥料)も必要です。 “エリー土”には植物が育つために必要な栄養がたくさん含まれています。 生ごみの分解が終わっていないブレン土では、「～お庭や畑で行う方法～」で説明したように、窒素不足になる可能性があるため、必ず生ごみが分解し終わっているか確認してから使いましょう!

投入する生ごみの成分によって土の養分も変わるんだよ



投入する生ごみと、植物の成長に必要な要素についてご紹介

窒素

多く含まれる生ごみ
肉、油、魚、脂

植物を大きくする役割：葉を大きく元気に、茎を太くしっかり

▶ 窒素が足りないと…

小松菜やキャベツなどの葉ものが黄色くなったりします。

リン酸

多く含まれる生ごみ
骨類、米ぬか

花や実に影響を与える役割：

花の大きさや色の鮮やかさ、実の収穫量の増減

▶ リン酸が足りないと…

玉ねぎが小さくなったり、赤い花がぼけた色になったりします

カリウム

多く含まれる生ごみ
トウモロコシの皮や葉、
牧草など

根の成長や全体の調整役：

害虫が付かないよう丈夫に、病気になるのを防ぐ

▶ カリウムが足りないと…

根が伸びず、病氣にもかかりやすくなります

カルシウム(石灰)

多く含まれる生ごみ
卵の殻、貝殻など

pH調整や病気を防ぐ役割：

バクテリアの分解後に発生する有機酸や酸性雨の影響で酸性にならがちな土壤を中和

土に混ぜる場合は、すり鉢などでできる限り細かく粉末状に

マグネシウム(苦土)

多く含まれる生ごみ
海藻、ナツツ類

光合成に必要な葉緑素の主要成分

※食品に含まれるカルシウム、マグネシウムは非常に微量のため、肥料として植物に与える場合は、市販の苦土石灰を使用する方が無難です。



Q エリー土に適した作物を教えてください。

A 比較的育ちやすいものは、小松菜、コーヤ、ニンジン、にんにく。花は、アスター、ノースポール、パンジーなどから始めるところが良いでしょう。チューリップなどの球根はカビが苦手なので、特に分解が完全に終わってから植えましょう。